

INTERNATIONAL COMMUNITY OF COMPUTER-USING SENIORS



日本語訳 (FOR JAPANESE)

アメリカ シニアネット 翻訳資料

1 シニアネットの概要

シニアネットの使命とは
参加方法
学習センター
オンラインメニュー
シニアネットの出版物
シニアネットの会員紹介
シニアネットの沿革
スポンサーの紹介 など



*Learning Center locations
in Texas and California.*

2 シニアネットの最新のニュースレター 8月号

インターネットにホームページを持った
90年代のマルチメディア
シニアネット全国大会 ベティフリーダン女史講演など

3 最近の雑誌で紹介されたシニアネットの紹介記事

タイム サイバースペースによろこそ

- パーキンソン病のアイリーンワインバーグさん
”息子が買ってくれたパソコンに夢中で2回目の回線を入れました。
現在と未来をつなげてみたいですよ。”
- リックとリタはモービルホームで全国を旅行中。
”シニアネットがなかったら、この旅行はしていない。
シニアネットのおかげで100マイル以内に必ず友達がいるからね。”
- ジョン・ホーン教授
”村の広場で老人のまわりに集まって話しをきくのと同じなんですよ。”

サンホセマーキュリーニュース

- 70才になるベスウィックさん
”最初は混乱していましたが、今はとても楽しい。何十年ぶりの興奮する体験です。”
- 65才のブラウンさん。
”私は身体障害者の退役軍人です。これまではテレビを観るか、寝るか死ぬかしかできませんでしたが、シニアネットは4番目のすばらしい選択肢です。子供にできるなら私にもできそうですからね。”

シニアネットは、55才以上のシニアたちが、知識を高め才能を磨き、その知識と経験を共有するべく、コンピューターを使い、ユーザーのための共同体を目指す、非営利団体です。

1986年以来、5万人のシニアの方々がシニアネットの教育プログラムや教材を通してコンピューターを使ってきました。

現在米国内とニュージーランドに、計75の学習センターがあり、ワープロや情報管理、通信システムなどの使い方を教える講座が開かれています。

シニアの皆さんはコンピューター通信により仲間を作り、またシニアネットオンラインが提供するさまざまな情報を利用しています。

シニアネットオンラインは、マイクロソフト、ワールドワイドウェブ、アメリカ・オンラインなどを通して接続でき、何万人ものシニアの方々に利用されています。あなたもこのコンピューター仲間に参加してみませんか。

質問等ありましたら下記まで：

SeniorNet

1 Kearny Street, 3rd Floor,

San Francisco, CA 94108

tel:415-352-1210

fax:415-352-1260

e-mail: seniornet@mns.com.

URL: <http://www.seniornet.org>

SeniorNet Sponsors

SeniorNet receives core support from The John and Mary R. Markle Foundation.

Other foundations and corporations that have provided support to SeniorNet include:

Adobe	IBM
American Express	Intel Corporation
Ameritech	Intuit
Apple Computer, Inc.	Microsoft
Bell Atlantic Corporation	Northern Telecom
BellSouth	NYNEX Corporation
Goldsmith Foundation	Southern Bell
Hayes Microcomputer	Southwestern Bell
	Pacific Telesis Group/Pacific Bell

Special thanks to American Express® Senior Membership and Hayes Microcomputer Products for underwriting the creation of this publication.

シニアネットによるこそ

シニアネットによるこそ。初心者から専門家まで、シニアネットはコンピュータの最新技術を学び、楽しむ方法をお教えします。

シニアネットは12年前に55才以上のコンピューター技術を持つ仲間から始まり、現在国際的な規模で会員を持ち、国内オンラインネットワーク、会員間の相互支援システム、各地域の学習センター、出版などの活動を展開する非営利団体にまで成長しました。

現在、会員は初心者、経験者含め17,000人にのぼり、全国に70か所以上の、学習センターがあります。シニアネットを通じて33,000人以上のシニアがコンピューターを学び、それぞれの、生活を豊かにする方法を見つけています。

このパンフレットではシニアネットの会員になる方法と利用方法を紹介します。



コンピューターへの知識や情報を共有する楽しさ。

メアリー・ファーロング（シニアネット代表）

私が1983年にシニア向けにコンピューターを教え始めたのは、ついこの間だったような気がします。最初の生徒たちのことは今でも忘れません。彼等は決して遅刻をせず、宿題もきちんとかなし、私にお礼までいってくれました。

教える立場の私も、彼等の考えや経験から学ぶことが多く、本当に彼等は最高の「生徒」さんたちでした。

シニアネットの会員の皆さんは博識で、教育もあり、会員同士で刺激されるところも多いのです。彼等によってシニアネットはここまで成長してこられたのです。

シニアネットで精力的に活動すれば本当に沢山のことを得られると信じております。

テクノロジー・リーダーシップ・コープとは

テクノロジー・リーダーシップ・コープは、メンバー間の相互支援（手紙、電話回線、コンピューター等による）スピーカーズ・ビューロー、セミナー・トレーナー、学習センター指導員および計画者など、いくつかのプログラムに分かれています。

シニアネット国内ボランティアプログラムの方々は、それぞれの知識や経験を会員と共有することによりすばらしい貢献をしています。

シニアネットの使命

シニアにコンピューターテクノロジーを教え、彼等が知識を共有できるようなコンピューターユーザーの共同体を作るために、シニアネットは下記の様なことを実施しています。

- シニアの需要と興味に沿った環境でコンピューター技術を教える。
- シニアが彼等の知識を社会に役立てるために必要なコンピューターの技術を身につける機会をつくる。
- シニアがコンピューターで意見交換したり、友好を深められるような手段を提供する。
- シニアによるコンピューター使用についての研究を進める。

学習センターでのボランティアをするには

国内のシニアネット学習センターで600人以上の人達が協力してくれています。

もしあなたの近くに学習センターがあるならば、次の様なことをしていただけます。

あなたが初心者なら、技術を必要としない分野で協力して下さい。そして、少しコンピューターのことをわかってきたら、指導員やコーチとしてボランティアできます。学習センターでコンピューターを学び、初心者向けクラスの優れた指導員になった人達も沢山います。経験を積んだ方ならば、授業やワークショップの企画に携わっていただくことになるでしょう。

プログラムを拡張してコンピューターユーザーグループを含めるようになったセンターもあります。

もし、あなたの近くのセンターがそのようであるならば、会合に参加し、コンピューターの使い方について話し合ったり、最新の技術についての情報などをゲストスピーカーからきいたりできます。

もし、そのようなシステムがなくても、これからあなたが始めることもできます。

シニアネットオンラインへの参加

コンピューターさえあれば、シニアネットオンラインに参加することができます。最初は「ラッカー」といって会話を読むことだけでもできます。しかし、一旦自分の意見を言いたくなったら「トーキング」を止めることは難しいかもしれません。

会員が共同体を作るやり方は多様です。例えばある話し合いを始めた会員はその話し合いのホスト役をつとめることが多いのです。

ほかの方法としては、「展示」があり、これは会員がニュースレターに自分が作った絵・写真などを出すことで、また、それを「交換」することもできます。

社交的な方には水曜日のカクテルパーティーやボランティアが企画する各種イベントもあります。今まで、ディナーパーティーや独立記念ピクニック、誕生日会などが開かれました。

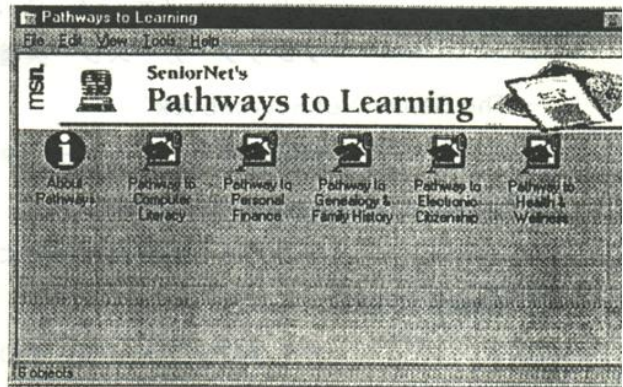
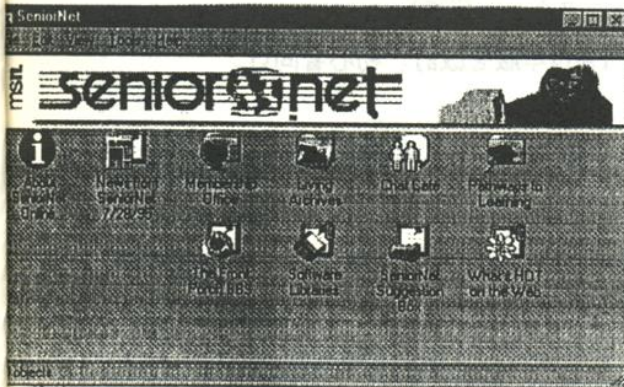
シニアネット製品とサービス拡張への協力

シニアネットの出版活動に関わるプロのスタッフはごく少数で会員の皆さんの協力によって成り立っています。そのため各サービス拡張のために皆さんの協力を必要としています。

アイデアや寄付を下さったり、会員に情報を提供したり刺激したりする経験を共有したり、執筆および編集の際の協力も大歓迎です。

貴方の意見をいつでもお待ちしております。

シニアネットへの参加方法はさまざまですが、私たちの使命、製品サービスについての意見をお寄せください。連絡方法は後述してあります。



- SeniorNet Online operates on the Microsoft Network, World Wide Web and America Online. Our online service is accessed by thousands of seniors. We want to be your link to the growing population of computer-using seniors.

For more information, please contact:

SeniorNet

1 Kearny Street, 3rd Floor
San Francisco, CA 94108
(415) 352-1210
FAX: (415) 352-1260
e-mail: scniornet@msn.com
URL: <http://www.scniornet.org>



シニアネットの出版物は刺激的でためになる情報満載

シニアネットの出版物は初心者、経験者を問わずかかせない最新のコンピューター技術の情報をお伝えします。刺激的でためになる情報の多くはシニアネットの会員の方から寄せられたものです。

ニュースライン

会員に届けられる季刊（3、6、9、12月発行）の「ニュースライン」は会員によるコンピューター使用（ハード/ソフト）、シニアネットの活動等についてのアイデアや情報で満載です。この冊子で、会員対象の特別割引や学習センター新設のお知らせ、各種イベントなどシニアネットのお得な情報についても知ることができます。

シニアネットブックス（メンバー価格でお求めになれます。）

—“Computer For Kids over 60”

メアリー・ファーロング（シニアネット代表）

グレッグ・カースレー共著。1984年版を改訂。初心者向け。

—“The Senior Net Sourcebook”

会員が考えたコンピューターを使いこなすためのアイデア集。

—“Portraits of Computer-Using Seniors”

シニアネット会員がどのようにコンピューターを使っているかの情報。

—“Senior Works”

マイクロソフト（ワープロ、データベース等）を使うためのステップごとの演習。

—“Senior Net Guides”

コンピューターをどこで買えばよいか、どう始めるかなど実用的な助言、具体的で詳細な情報（値段、製品名等）を載せたパンフレット集。

—“Going Online With SeniorNet”

シニアネットオンラインとインターネットについて自分のペースで学べる書。

オンラインでの討論は幅広く、活気に満ちあふれている。

シニアネットオンラインはアメリカ内外の会員の出会いの場となっている。コンピューター、モデム、ソフトと電話回線をつなげば、シニアネットに接続でき、何百人という会員と会話することができます。

オンラインでできることは、おしゃべり、お互いの支援、情報／意見の交換、討論、互いに学習など様々です。

実際の社交生活と同じ様な活発な交流ができると多くの会員の皆さんが感じています。

シニアネットは会員の皆さんの多様な興味によって成り立っており、彼等は家庭から討論に参加します。通時的に討論がすすむこともあれば、長時間にわたることもあります。

討論のトピックは会員の興味や得意分野などによって決められます。下記の様な例があります。

芸術／娯楽 本／書批評 文化的収集品

料理／料理方法

投資

シニアのための宿泊先

園芸

系譜学

手芸

ジョーク／賢言

音楽

寛容になる詩

政治

RV車

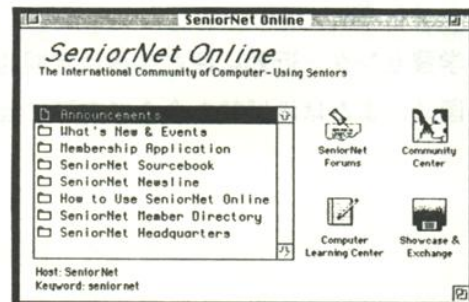
シニアお見合い

時事問題討論

旅行

女性について

戦争回顧録



その他、コンピューター使用、健康維持について話しあったりシニアネット会員が児童たちと仕事や時事問題について意見交換する世代間フォーラムなども盛んです。

会員はコンピューターに関する問題などで相互的に支援し、自伝やニュースレター執筆、経理管理などに有用なプログラム作成で協力しあったりしています。前者については、機種やソフト/ハード、技術、初心者の体験談などについてQ&Aコーナーを設けたりしています。

シニアネット会員向けにはほかの団体が情報を提供するコーナーもあります。それにはホワイトハウスの高齢化対策委員会、社会保証部、エイジング・ネットワーク・ニュース、グレイ・パンサーズ、シニア女性リーグ、55安全運転プログラムなどが参加しています。

シニアネットオンラインはアメリカオンラインと呼ばれる商業サービスの特別枠に属しているため、会員は、アメリカオンラインの他のライン—E-メールや、最新ニュース、株式情報、ソフト図書館、コンピューターについての消費者レポート、飛行機やホテルの予約など—を使用することができます。

シニアネットオンラインはIBMかマッキントッシュの殆どの機種で使うことができ、ほぼすべての都市圏にアクセス電話番号があります。

シニアネット会員のうち、約20%がシニアネットオンラインに参加しています。まだまだ、余裕はありますし、ますます便利になるコンピューター共同体に参加して見ませんか。詳しい参加方法については後述してあります。

センターや会合で出会い、意見や経験を共有する。

シニアネットの共同体は全国、また世界中に及んでいます。ニュースラインやオンラインを通して、意見や経験を共有することができます。また実際の出会いの場を提供することもあります。

学習センター近郊に住む会員は定期的に集まり、学習しています。その他の会員たちも全国的、または地域的な会合で実際に会員同士顔を合わせることができます。

コンピューター学習センター

シニアネット学習センターは親切でくつろいだ雰囲気の中でコンピューターを学び、体験を共有することができます。学習センターは地元民の資金やボランティア、シニアのための諸団体とシニアネットによって成り立っています。資金的支援、施設、道具、スタッフはすべて地元の団体と個人によってまかなわれています。シニアネットは教材と有用な情報を提供し、指導員と所長を養成します。

学習センターはアメリカ国内とニュージーランドにあり、シニアセンターや、地域センター、病院施設、学校や大学などに設置されています。これらのセンターは100以上のスポンサー、600人以上のボランティアによって支えられています。

ほとんどのセンターに初心者向けの講座があり、それには「コンピューター入門」、「ワープロ」、「シニアネットでのオンライン」などが含まれます。

その他、「経営管理」、「系譜学」、「自主出版」のような特定の興味に応じた講座があり、このような講座の中には自分の専門を生かしたい会員によって構成されたものもあります。

学習センターでは講座のほかにも会合や持ち寄りパーティー、会議、セミナーなど教育／交流のための様々な活動を行っています。

全国大会

シニアネットに参加するもう一つの方法はシニアフェストに出席することです。これはシニアネットの全国会議で隔年で開催されます。

これらの会議では下記の活動があります。

- ーシニアネット会員と学習センターのプロジェクトの展示
- ーテクノロジー発展についての発表や実演
- ーテクノロジー、高齢化問題その他関連分野の専門家やオピニオンリーダーによる今後の動向についての所見発表
- ー会員と交流してとにかく楽しむ。

各地の集会

シニアネット会員と学習センターは不定期的に地域ごとに集会を開きます。今までに会合やたくさんの交流大会などが開かれています。ニュースラインとシニアネットオンラインに掲示される告示をお見逃しなく。

コンピューターの世界を探検する

シニアネット共同体の多様な会員

ある共同体を最もよく知るためにはそのメンバーと交流することが重要でシニアネットも例外ではありません。シニアネットのメンバーの顔触れは多様です。ここではシニアネット会員のコメントと彼等についての統計データを紹介します。

「パソコン、またはパソコンへのアクセスは年齢を問わず全ての人に日常生活の展望を広げる機会を与えてくれます。」――

シグリッド・アリソン、マサチューセッツ州・ミドルボロ

「私の息子3人はコンピューターエンジニアで、そのうちの一人が私にマックを買えと言ってきたんです。園芸クラブの料理本をタイプするためにね。最初はそんなにやる気も起きなかったのですが、今はハマってしまっています。」

―ダイアン・セラー、フロリダ州・ジャクソンビル

「私はシニアネットの会員ですが、最近コンピューター講座を終えました。まだ少ししかわかりません。シニアネットのおかげで78歳の私が300ページに及ぶ歴史の資料をコンピューターに打ち込むことができました。」

ジャック・ラグスデール、カリフォルニア州・サンフランシスコ

「退職で人生が終わったわけではありません。、まだまだ新しいことを学び、新しいことをすることができるのです。」

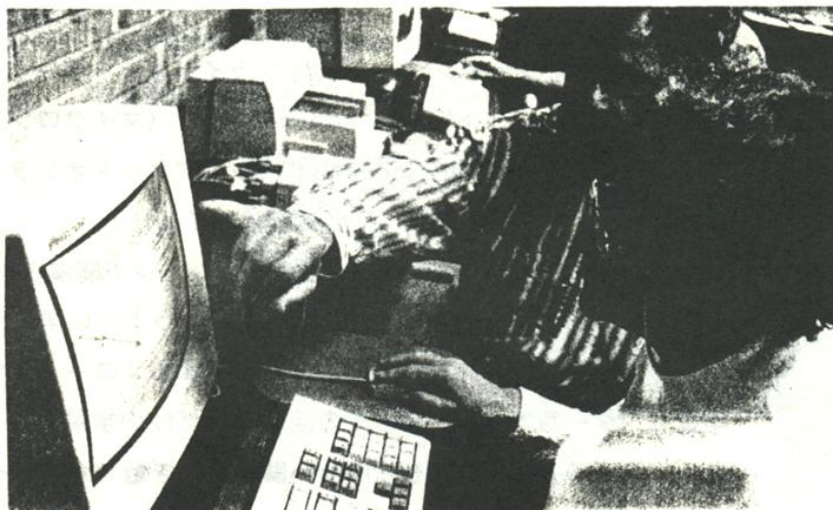
フラン・オールワイラー、デラウェア州・ドーバー

「私は老人ですが、オンラインをつかっている時は違います。私は37歳で、金髪で逆立ちできるような気分でいられます。」

アイリーン・ワインバーグ、マサチューセッツ州、ニュートン

シニアネットメンバーの特徴

性別	男性50%/女性50%
年齢層	55-65歳 36%、66-75歳 52%、75歳以上 12%
学歴	高卒以下：15%、大学中退：30%、大卒：19%、 大学院レベル：36%
現職	フルタイム：12%、パートタイム：20%、無職/退職：68%
コンピューター所有	している：56%、していない44%
コンピューター機種	IBM-compatible：78%、Apple：17%、 その他：5%
用途	ワープロ：57%、経理：33%、通信：25%、ビジネス：22%、 趣味：21%、ゲーム：17%
シニアネットの使用	している：15%、していない：85%
学習センターの利用	している：56%、していない：44%



Robert L. Mason

シニアネット年表—構想から実現まで

- 1983 調査の一環として教育者メアリー・ファーリングとグレッグ・カースレーが300人以上のシニアにコンピューターを紹介するワークショップを開く。
- 1984 ワークショップ参加者からの思わぬ反響に促進され、メアリーとグレッグ "Computer for Kids Over 60" を著わす。
- 1985 メアリー、シニアのためのコンピューターネットワーク設立のためのスポンサーを探す。
- 1986 ニューヨークのJohn and Mary R. Markle協会、シニアネットオンライン設立のための補助金提供。アップルコンピューターは学習センターと参加者20人にコンピューターを寄付。
- 1987 学習センター、会員とも増加し、スタッフとボランティアがニュースレターを発行、学習センター用のカリキュラム作成。パシフィック・ベルが学習センター支援開始、12の学習センターが新たに設立され、カリフォルニアでの活動が全国で最も活発に。
- 1988 第一回シニアネット会議開催。150人の参加者。
メインスピーカーにアラン・ケイ氏。
- 1989 シニアネット、さまざまな全国紙で紹介され、残酷のシニアから大反響。Markle協会の支援により、シニアネットを独立会員団体へと拡張する。ニュースレターも大規模なものになり、会員特別価格も導入。
- 1990 シニアネットは教育的非営利団体として本部をおく。
20人の会員に焦点を当てた本とビデオ、"Portraits of Computer-Using Seniors" 出版。
- 1991 シニアネットオンライン、アメリカオンラインネットワークへ移行。多様な教本・コンピューターソフト販売。"Senior Works" (マイクロソフトワークスを基に制作) "Going Online with SeniorNet" (シニアネットオンライン新版を基に制作) "How to Buy a Computer" (初心者向けガイド)
- 1992 シニアネットの第五回全国会議が首都ワシントンで開催される。テーマは「情報化社会の市民」。北米外出始めてニュージーランドに学習センターがオープン、両国の会員がオンラインで交流。また、日本のメロー・ソサエティとも通信開始。学習センター数増加、IBMやその他の企業が12の学習センターのスポンサーに。ニュースラインに、コンピューター関連記事を載せた「ガイド」登場。

- 1993 25人以上の会員のコンピュータを創造的に使うアイデアを載せた、“The SeniorNet Sourcebook”出版。NYNEXとIBMが、ニューヨーク州にある7つの学習センターのスポンサーに。シニアネットの会員がテレビ（CNN、CBS）、新聞（ウォール・ストリート・ジャーナル、ニューヨーク・タイムズ、USAトゥデイ）等で紹介され、シニアのイメージが活発的なものへと一新される。
- 1994 ホワイトハウス高齢化社会対策委員会の公式会議に擬した大会が「シニアフェスト」で開かれる。テクノロジー・リーダーシップ・コープ(TLC)がシニアネットのボランティアプログラムを拡張、会員間相互支援、オンライン大使、スピーカーズ・ビューロー、学習センター指導員などの制度を設ける。

シニアネットのスポンサー

シニアネットは主なる支援をThe John and Mary R. Markle 協会から得ていますが、その他のスポンサーは下記の通りです。

Adobe American Express Ameritech Apple Computer, Inc.
 Bell Atlantic Corporation BellSouth Goldsmith Foundation Hayes
 Microcomputer IBM Intel Corporation Intuit Microsoft
 Northern Telecom NYNEX Corporation Southern Bell
 Southwestern Bell Pacific Telesis Group/Pacific Bell



Penny and Jay Van Dyne act as coach and instructor for a Dallas Intro to Computers class.

シニアネット・メンバープロフィール

エドソン・ヴァスコンセロス

在住： ニューヨーク州・ブルックリン

コンピューター機種： IBM PS/1

シニアネット加入年： 1992年

コンピューター使用開始年： 1992年

オンライン名： Univset1

コンピューターでの活動：

ワープロ、シニアネットオンライン、ゲーム

(次はコンピューターでニュースレター、チラシなどの作成に挑戦したい。)

その他の活動：

ニューヨーク市の大学のセトルメントハウスでのシニアプログラム作成の指導、美味しいものとワインを楽しむ、食材(チョコレートなど)をつかった創作、観劇。

一言：

「子供のころ『アリババと盗賊』が大好きでしたが、50年してやっと宝を発掘できる呪文を見つけることができました。シニアネットは私が長い間探していた『開けゴマ』なのです。

Edson Vasconcellos



ジェシー・アスキュー

居住地： テキサス州・エビントン

コンピューター機種： IBM-compatible

シニアネット加入年： 1991年

コンピューター使用開始年： 1985年

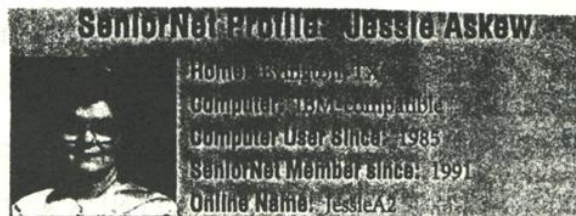
オンライン名： JessieA2

コンピューターでの活動：

ワープロ、多様な団体への参加、シニアネットやその他のオンラインでの友人との交流、ゲーム(次はCAD-コンピューターを利用したデザイナーを学びたいです。)

その他の活動： 電話会社に勤務。フィンチ飼育(28羽)

一言： コンピューターを使うことで私は本当になりたかった自分を見つけることができました。学習することをやめたら、老化の始まりです。コンピューターのお陰で、私は決してそうなりません。



A.ウォーレン・ヘリゲル

居住地：オレゴン州・ユージーン

コンピューター機種：Mac LC III

オンライン名：Awhsom

コンピューター使用開始年：1987年

シニアネット加入年：1989年

コンピューターによる活動：

会計・家計簿つけ、ワープロ、家族史や各種ニュースレター作成、上院／下院議員・大統領への意見書提出


その他の活動：

ニュージャージー州の元判事。現在はコンピューターでの活動が主。

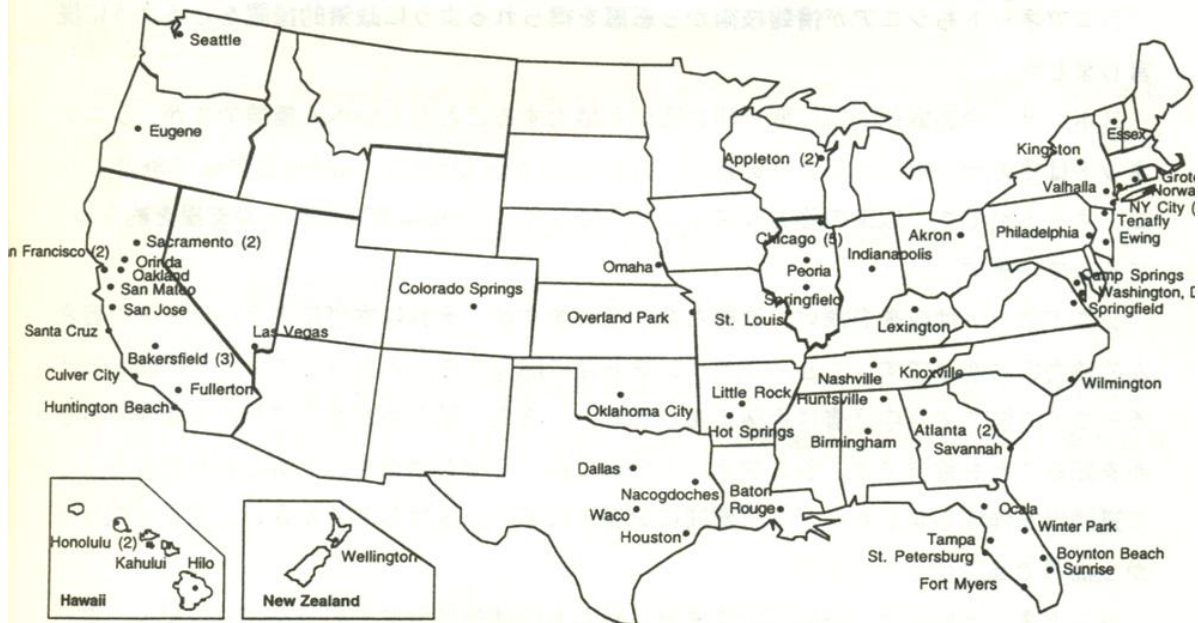
一言：

「インターネットについて調査し、情報を見つけるとは何かについて記事を書いています。」

SeniorNet Profile: A. Warren Herrigel
Home: Eugene, OR
Computer: Mac LC III
Online Name: Awhsom
Computer User Since: 1987
SeniorNet Members Since: 1989



SeniorNet Learning Centers



8/95

ニュースライン・1995年夏号

インサイド・シニアネット

メアリー・ファーロング (シニアネット代表)



最近数ヶ月でシニアネットは様々な新しいことがありました。1995年度のこれまでに、17の学習センターがオープンし、高齢化問題に関連のある団体と新たな協力関係を結ぶこともできました。

ホワイトハウス高齢化社会対策委員会にも参加し、シニアネットのワールドワイド・ウェブ(<http://www.seniornet.org>)も開始できました。

ニュースライン最新号でシニアネットの新プロジェクトについて知って下さい。

この号は「情報化時代の指導者」をテーマに1995年月に開かれたシニアネットの会合を特集しています。会合ではシニアネットのボランティアリーダーが集まり、経験を共有することでお互いに学び、今後について話し合いました。

この会合は首都ワシントンで開催されましたが、同日程でホワイトハウス高齢化社会対策委員会(WHCoA)があり、代表がシニアネットの技術センターを訪れました。

シニアネットもシニアが情報技術から恩恵を得られるように政策的措置をとるように提言しました。

スポンサーや高齢化問題に取り組む団体と協力することもたいへん重要ですが、シニアネットはその他の連帯も深めています。The John and Mary R. Markle協会は1986年にシニアネットができて以来の強力なスポンサーですが、1996年度も変わらぬ支援を約束してくれています。

シニアネットは成長を続け、改善も進んでいますが、それは本当にボランティアの皆さんの協力のおかげです。ニュースラインを友達に紹介することもシニアネットの輪を広げる一つの方法です(申込書は最後にあります。)また、私たちが貴方にどんな興味があるかを知ることが重要です。シニアネット会員に最も必要な情報を伝えることができるように質問表を作成しました。どうぞ質問にお答えになり、送付してください。回答者のなかから抽選で商品が当たります。

シニアネットは変化し続けていますが、私たちの使命はシニアの方々がコンピューターを使って、知識を共有することにより力を持つようになることです。

90年代のマルチメディア

スティーブ・ポメランツ（シニアネットオンライン編集局）

テクノロジーの発展には目覚ましいものがあります。数年前、コンピューターを買うのに数千ドルもかかりました。しかし、今や価格は毎月のように下がっているようです。

マルチメディアとは？

マルチメディアを使えば、写真や映像を編集したり、高質のサウンドを聴いたりすることができます。また情報整理も容易ですし、E-メールなどとにかく何でもできるのです。

何が必要か？

マルチメディアを効果的に使うには、186/66IBMか、8メガ以上、2倍速以上のCD-ROMドライブ、カラーモニター、などマッキントッシュの新型シリーズ、などが必要です。またサウンドカードやスピーカーも便利でしょう。モデムは14,400以上が適しています。

DOSシリーズならウィンドウズのソフトが入っているものが良いでしょう。

いくらかかるか？

コンピューター専門店では、3千ドルから5千ドルの予算が必要でしょう。ディスカウントストアでは割引がありますし、通信販売で2千ドル位で購入することもできます。

装備について

今日のマルチメディアにはいろいろなシステムがついていて、多大な容量を必要とするため、新型コンピューターの方が便利です。古い型だと待ち時間が長くなったりしてしまいます。

以前はソフトはフロッピーで販売されていましたが、今はその400倍もの容量があるCD-ROMが一般的です。

その他の特典

CD-ROMは収容量が多いため、百科事典や世界地図なども一つに収めることができます。購入前に一度お店に行って試してみてください。新技術の発展振りにきっと驚かれるでしょう。

シニアネット大会から

1995年5月3日から5日まで、ヴァージニア州のアレクサンドリアに150人のシニアネットボランティアが集い、「情報化時代のリーダーシップ」をテーマにした集会と会議、シニアネット・テクノロジー・リーダーシップ・コーブが開かれました。

参加者は情報交換をしたり、将来の動向に話し合いました。シニアネットの今後について様々なアイディアが飛び交いました。

この記事では「インターネットの潜在能力」をテーマにした講演を取り上げたいと思います。

3日のレコグニション・バンケットで、“The Feminine Mystique”と、最新刊、“The Foundation of Age”（「老いの泉」）の著者、ベティ・フリーダン氏が基調演説を行い、商務省長官補佐である4日はデビッド・J・バーラム氏の講演がありました。

シニアネット会員でジョージア州サバナの責任者であるルース・ギャレット氏がバーラム氏の演説の応答に当たりました。

フリーダン氏は、著書のなかで述べているように「老いの泉」から湧き出る活力はある特定の人だけのものではない、という考えを明らかにしました。

「自分の安全のためだけに知を老いの中に閉じ込めておくのは間違っています。年を重ねる、ということがどれだけ力強いことか、というのを否定しているのです。」

現在、私たちの社会に直面している問題に全身全霊をかけて取り組み続けることが、唯一、子孫に遺産を残し、未来を形づけ、人類の原動力を維持する、ということなのです。老いから生まれる知のなかで、私の先祖、ヒレルが言っています。「自分がいなかったら、だれが存在できるだろう。私しかこの世にいなかったら、一体私はだれなのだろう。」

フリーダン氏は私たちはさまざまな行動を通して老いるということについての新しいイメージを作り出すことができると説いています。

老いるということは、自由で喜びに満ちていて一痛みと共に生きなければならないとしても、自分で考え、感じることができ、次世代が受け継ぐようにしてきた未知の未来に入り込んでいくスリルを味わうことができるのです。

バーラン氏はまた、「世代間の交流を深める」と言うことをテーマについて講演。

通信技術の（口述の時代から始まり。文字が使われ始め、印刷技術の発明、電報、電話、ラジオ、テレビ、コンピューター、そしてデジタル・マルチ通信が導入された今日までの）歴史について簡単に述べました。バーラン氏は

「このような各時代の変化は、世界、社会を引き寄せたり、分離したりするような重大な影響を及ぼした。と語りました。

IBMパソコンがアウトレット価格で購入可能に

今夏から、IBMのパソコンがアウトレット価格で購入できるようになります。

この割引がきく商品は頻繁に変わるため、シニアネットオンラインのカタログで毎月最新情報を流します。その他の会員お方は1-800-426-7015に連絡することができます。

すべてのIBMパソコンは15日以内なら返却可能で、保証書もついています。（シニアネットは価格設定には関与していません）シニアネット会員以外でも購入可能です。

コンピューターを買う理由

時間の有効利用など、シニアの方々のコンピューターの使用用途は様々です。

チェックを書く、支払をする／手紙や家族ニュースレターを書く／株式市場について勉強する／予算管理や所有品整理／教育用ゲームで孫と遊ぶ／アルバイトに役立てる／オンラインで調査／童話を書く／プログラム制作／ワープロ／友達づくり

ーコンピューターは私の人生を変えてくれた

情報源・サポート

購入時のサポートだけでなく、アフターサービスで質問をお受けします。

コンピューター講座とチューター制度

シニアネット学習センターでは常にシニア向けの講座が開講されています。センター以外でもコンピューター専門店や地域の大学、地域センターなどでも講座は開かれています。無料で試講することもできます。

少し経験のある方には1対1の講習もあります。

ユーザー・グループ

経験や得意分野の近い人達が集まってつくるグループです。参加すれば貴重な情報源となるでしょう。大規模のものとしてはボストン・コンピューター・ソサエティ（617-290-5700）、パークレー・マッキントッシュ・ユーザー・グループ（510-549-2684）があります。

オンライン・チップス

インターネットにアクセスする場合、最も早く（最も安価ではないですが）インターネットとワールド・ワイド・ウェブ(WWW)にアクセスできるのは、アメリカオンライン(AOL)やコンピュ・サーブ、Prodigy or Delphi、またはマイクロソフトの新ネットワーク、MSNなど商業ラインでしょう。

これらは皆、便利でメニューインターフェースの中にインターネットにアクセスできるようになっています。

たとえば、AOLは初心者にも経験者にも便利な情報や手段を提供するインターネットを含んでいます。

1時間当たり標準価格2.95ドルでインターネット、Eメールの使用、メイリング・リストへの登録、何千もあるニュースグループの討論への参加、図書館・その他のデータベースでの検索などができます。

次号では、インターネット接続の他の方法を紹介します。

アメリカオンライン登録についての情報を知りたい方はシニアネット425-352-1012、または、800-747-6848までご連絡下さい。初登録の場合、最初の一ヵ月、10時間までは無料になります。

オンライン・デスティネーション・ガイド

オンラインでどのようなところと接続出来るのかを説明したいと思います。アメリカ・オンラインですべてつながることができます。

インターネットのワールドワイド・ウェブはキーワードの「www」から始まるアドレスを送りたい先のアドレスと交換することによってアクセスできます。

また、他のインターネットアカウントからwwwにアクセスすることもできます。

シニアネットーワールドワイド・ウェブ <http://www.seniornet.org>

シニアネットはワールドワイド・ウェブに入ったばかりなので内容は未だ「構築中」の状態です。今のところ、シニアネットについての情報—学習センターの所在やシニアに関連のある団体のオンラインの連絡先、等—を入手することができます。

ニュースライン最新号でシニアネットはシニアネットコミュニティやシニアのプロフィールや各種のプロジェクトなどの情報やニュースを提供する「ニュースルーム」を構想、実行しています。

シニアネットオンラインーアメリカ・オンライン

アメリカオンラインによってアクセスできます（キーワードは seniornet）。会員間の相互的なサポートのための伝言板、健康維持グループ、また、グレイ・パンサー、OWL、ホワイトハウス高齢化社会対策委員会などの情報グループ、第二次世界大戦の回顧録、児童との世代間交流、様々なテーマや興味に沿った討論（系譜学、園芸、政治、旅行、芸術や娯楽）などのために利用できます。また「シニアネット・コミュニティセンター」には様々なイベント、情報交換、ソフト、音響、グラフィックス、各種記事などの図書館があります。

インターネット「スターリング・プレイス」

Yahoo <http://www.yahoo.com>

Yahooは元来、数人の大学生によって作られ、インターネット検索を始めるのに最適です。ここから他の何百ものインターネットに行くことができます。

芸術や教育、歴史、音楽、コンピューターなど主題によって検索することができ、また副題でさらに細かく検索できます

アメリカ・オンラインのホームページ

アメリカ・オンラインのホームページはインターネットを始めたばかりの人に最適です。初心者向けの情報や新しい場所を開拓しようとしている人のためのガイドとなるリンクが豊富です。

系譜学

全国系譜学協会 <http://genealogy.org/NGS/>

全国系譜学協会では年間行事や各プログラムや図書館、出版物、会合、系譜学の家庭学習講座、等についての情報を提供しています。系譜学の初心者・専門家向けの情報を保有しています。「系譜学者のためのインターネットガイド」や有用なホームページもあります。NGSの会員はコンピューターに興味があるグループに参加することもできます。

シニアネットオンライン 系譜学討論フォルダー

アメリカオンラインのアカウントで接続できます。（キーワードは seniornet）

まず、シニアネットフォーラムの中にある「Arts&Leisure」の項目、そして「Genealogy Folder」を選んでください。シニアネット会員の多くの人が先祖さがし

や家族史づくりを楽しんでいます。「Genealogy Folder」でほかの会員からの情報、助言、支援等を見ることがもできます。また、「SeniorNet Showcase & Exchange library」でその他の関連事項を探すこともできます。

アメリカオンライン系譜学フォーラム

アメリカオンラインのアカウントで接続できます。（キーワードは genealogy）討論委員会や家族史研究家のファイル、系譜学用ソフトなどがあります。

政府

ホワイトハウス

ワールドワイド・ウェブで接続すれば、大統領や副大統領、閣僚、連邦政府各局や委員会についての情報を得ることができます。大統領家族と会ったり、ホワイトハウスの見学もできます。大統領の演説や予算など主な出版物を見ることがもできます。

アメリカオンライン・キャピタル・コネクション

アメリカオンラインのアカウントで接続できます。（キーワードは capital）政府に関連するすべての情報を集めています。（アメリカ史博物館、国会図書館、スミソニアン・オンライン等）ホワイトハウスや代議員にEメールを送ったり、行事予定や計画、報告書などを見ることがもできます。

オンライン・デスティネーションにご協力ください！

あなたがどの行き先に興味を持ったか教えてください。（何通になっても構いません。）それぞれに、名前、電話番号、好きな行き先、その理由などをお書きください。

あなたの推薦がニュースラインに載ると、シニアネットオリジナル商品が当たります。

送り先：

Online Destinations, SeniorNet,

1 Kearny St., 3rd Floor, San Francisco, CA 94108

(fax) 415-352-1260

(e-mail) seniornet@aol.com.



シニアネットソフトウェアヘルプチーム

学習センター —6センターが新オープン

コネチカット

州第二のセンターがNorwalkにオープン。Grotonと同じくスポンサーはSouthern New England Telephone。連絡先：Celie Rosenau 203-847-3115

フロリダ

St.Petesburgにある南フロリダ大学の社会人教育学校学習センターオープン。
スポンサーはGTE。

責任者はJack EwersとBuck Roberts。連絡先813-974-2403。

ジョージア

LawrencevilleのBethesda Parkに州で第三の学習センター。スポンサーはSouthern Bell、ADP、BESCOとGwinnett郡。連絡先：Pam Hoffman 813-974-2403

メリーランド

Camp Springs のHarriet L. Hunter Centerに。スポンサーはBell Atlantic - Maryland。
連絡先：Doris Anderson 301-248-6606。

ニュージャージー

Tenafly のJewish Community Center。スポンサーはBell Atlantic - New Jersey。
連絡先：Debra Schiffman 201-569-7900

テネシー

Knoxville のO'Connor Senior Citizen Center。スポンサーはSouth Central Bell
連絡先：Dr.George Wagoner 615-690-0444。

TIME MAGAZINE

1995年・春特集号

特集：サイバースペースによるこそ

決して遅すぎるといえることはない

何百万というシニアたちのインターネットで広がる輪

ジョン・F・ディカーソン

ケンタッキー州・ノックスビルで、教官・ジョージ・ブレティット氏がどれくらいの人
がシニアにコンピューターを教えるのに興味があるかを、集まった300人のコンピューター
愛好家に一人の若者が聞いた。

「目の不自由な人が目の不自由な人を教えるようなものではないのですか。」と。

答えはバツ。その会場にいた観客の半数近くは50過ぎの人達で、実際、61歳のブレテ
ィット氏自身今までに多くのシニア世代の先生を集め、彼等を雇うことで会社を成功させ
てきたのだ。彼の会社、シルバーフォックス・コンピューター・クラブは今までに7,500
人の生徒を輩出し、その範囲は4つの州にまだぐほどになった。

コンピューターは若者だけのもの、などと誰がいったのだろう。

全米で最大規模のシニアの団体、全米定年退職者協会の3300万人の会員中、200万人が
コンピューター使用者である。若者より余暇も、自由に使える収入もある何万ものシニア
たちが（そのなかには今までコンピューターなど触ったこともない人も含まれている）サイ
バー文化の世界に足を踏み入れているのだ。ブレティット氏は言う。

「一旦、マウスを使えるようになれば、飲み込みは若者より速いですよ。」

シニアたちは投資の動向を追ったり、系譜を作ったり、彼等自身の回顧録を作ったりす
るのにコンピューターを利用している。

定年後、新たに事業を始めた人もいる。しかし大部分の人はジャック・フォーラーさん
（75・アリゾナ州・サンシティー）のように、進歩の波に乗り遅れないように、とコン
ピューターを利用している。

ある元薬剤師は言う。「4歳になる孫に追い付くことができませんでした。」

元ソーシャル・ワーカーのアイリーン・ワインバーグさん（68・マサチューセッツ州・
ニュートン）は、タイプライターがあったため、コンピューターは必要ないと思っていた。
しかし、2年前、息子がパーキンソン病が悪化しないようにと贈ってくれた。それ以来、
彼女はコンピューターに夢中でとうとう2本目の電話回線をいれた。彼女は言う。

「現在と未来をつなげてくれるみたいです。」

ワインバーグさんの主な接続先はシニアネットで、彼女は毎日、数時間をライン上の同世代の人々とおしゃべりに費やす。多くのシニアたちがネットワークを新しい友人を見つける場、トラブルがあったときの頼りになる場、また温熱器の電源の入れ方や髯の克服法などの情報をすぐに出せる場として重宝している。

「シニアネットで新しい友情が生まれ、知的好奇心も刺激されるんです。」

サンフランシスコをベースに1986年にシニアネットを創設したメアリー・ファーロング氏は言う。

ハンセン夫妻にとってシニアネットは知的好奇心以上のものだった。

マサチューセッツ州・ベリンガムで大型車の整備士をしていたリックとその妻リタは1993年9月に家売り払い、モービル・ホームで全国を巡る旅を始めた。

「シニアネットがなかったらこの旅行を思いつきもしなかったよ」を59歳のリック。

「一人が病気になったらもう一人はどうすればいいのか、と不安だけれど、シニアネットのお陰で100マイル以内に一人は必ず友達がいるからね。」

二人は感謝祭はラスベガスで60人のオンライン仲間と過ごし、ミシガンではシニアネット仲間の結婚式に参加した。

「もし神がそうお望みなら、コンピューターファミリーの350人全員に会うことになるでしょう！」

お互いと交流し、戦争など様々な思い出を共有するだけでなく、彼等は若い世代の人達とも交流している。老人を抱える人達が彼等に健康管理や定年者コミュニティについての助言を求めたり、また、ただおしゃべりをしてきたりする。シニアネットには児童とシニアを結ぶプログラムもいくつかある。世代間フォーラムで生徒たちは戦争や大恐慌期や年を重ねるということについての体験談をきくことができる。南カリフォルニア大学系譜学のジョン・ホーン教授はいう。「村の広場で老人の周りに集まって話を聞くのと同じなんですよ。」

コンピューターユーザー全体から見ればシニア参加者はまだまだだが、その数は確実に増えていて、ベビーブーム世代に達すれば爆発的に増加する可能性もある。もしそうなれば、デジタル将来においても若者にひけをとらないユーザーになるだろう。

レポート：キャシー・ショケット／フィニックス、
タラ・ワインガートン／ロスアンジェルス

震災後、励ましにコンピューターに向かうシニアたち

シニア向けコンピューターネットの一つ、シニアネットから震災に関連した投書：震災直後の情報収集と励まし。

FranOより：南カリフォルニアに住む私の子供たち。二人とも無事です。テレビや陶器やガラス類がどうなったかなんて構いません。おかしなことがありました。スージーの英国の友人が地震のニュースをきいて今朝早くにしてきた電話がつながったんです。スージーは電話がかかりにくくなるだろうと見越して、その友人に私たちに電話させたんです。ロンドンから無事の知らせを聞くなんて。

Flip2603より：ジニー...猫も私も元気です。ただーガラス類が散乱しています。あーあ、まだ余震が続いています。震度5近いかな。ちょっと庭に出て見ようと思う。

Flip2603より：今の余震は汽車がやってくるみたいな音がした。こわくなって庭に飛び出しちゃった。でも、今夜は余震が続いてもしっかり眠れそう。

GERRIWより：だれかが間違い電話で朝の7:45に私の留守電に伝言を残していました。彼女は「キムの母親」で大丈夫だ、と。もし何方か「キムの母親」さんを御存知なら、キムにこの伝言が伝わるようにしてくださいませか。

ConnieActより：1、2日は気を落ち着かせていてください。Loma Prietaによると、地震の揺れは鬱状態をもたらすことがあるそうです。私も泣いてばかりいました。皆さん、気を落とさず頑張ってください。

AliceB8703より：ほぼすべてのシニアネット会員から報告がありました。キーウィズには多少の被害があり、水槽が壊れました。ポーリーは家、コンピューター、テレビに被害がありました。ラリーは足に20針の切り傷。彼等のところはまだ断水、停電状態です。私たちのことを祈っててくださいね。

AliceB8703より：火曜日の午前4時ごろですが、眠れません。キム、ロジャーと赤ちゃんのジョシュアからはまだ直接の連絡がありません。電話の状態は最悪。何かあったらすぐ知らせてください。

BudRobより：ビルとリンダはギドがここに来て好きなだけ一緒にキャンプ生活をしようといっています。

GordonM678より：カリフォルニアにいるすべての皆さんとフォーティー・ナイナーズに私たちの祈りと思いやりを！

1995年2月5日（日曜日）

シニアのためのオンライン、インタッチのネットワーク

ハリー・ウェッセル

エベリン・ベスウィックさんの友人の多くはコンピューターを学ぶには遅すぎる、と思
っている。しかし、フロリダ州・ロングウッドに住むベスウィックさんはあきらめない。
彼女は一年前にコンピューター講座を受講し始めた。70歳になる彼女は言う、
「最初は混乱していましたが、今はとても楽しいです。本当に何十年振りの興奮する体験
です。」

ベスウィックさんはコンピューター世代に乗り込んできているシニアの先頭をきる存在
だ。過去5年間で55歳以上のパソコン所有者は8%から22%へと3倍近く増加した。

ベスウィックさんのような人は技術に魅了されたからコンピューターを使っているわけ
ではない。（ちなみに彼女は銀行のATMは決して使おうとしない）コンピューターが彼
等の必要とするもの一容易な通信機能、迅速な情報入手、創造性育成一を提供してくる
からだ。

ベスウィックさんは1月に初のパソコンを購入した。

孫への思いを託す魔法の箱

「私の3人の孫に何らかの思い出を残したいのです。それに住所録、レシピなどをまと
めて家全体を整理したいですし。」

ウィンター・パーク技術校で開かれた講座でベスウィックさんは語った。「孫たちはと
てもコンピューターが得意ですし、モデムも持っています。早く彼等とオンラインでおし
ゃべりしたいです。」

ベスウィックさんは人生の節目に来ている。55歳以上になると、シニア向けのコンピ
ューター作りを目指す全国的な非営利団体、シニアネットの会員資格が得られる。

シニアネットのシニア向けにつくられた10以上のコンピューター講座がウィンター・
パーク技術校で開かれている。ワープロ、通信、系譜学などのデータ処理、経理管理、グ
ラフィックなど、レベルによって講座を選べるようになっている。

最近では平日の午後に生徒がマッキントッシュ作成した返送用宛名シールを見せあっ
ていた。

このようなシニアネット学習センターは全国で60以上ある。シニアネットには、サンフランシスコをベースに現在14,000人（うち、半数は女性）の会員がいる。

会員には安価で講座が開講されており、ウィンター・パーク技術校では1時間当たり50セントほど、またシニアの興味に沿った情報を提供するオンラインも利用できる。会員意はソフトや教材に割引価格が適用される。

ネットワーク

年会費は個人35ドル、2人40ドル。初心者講座は会員でなくても参加でき、コンピューターを所有していなくても構わない。ウィンター・パーク技術校での受講生は一週3時間で十分満足のような感じだ。

シニアネットの他に、地元のコンピュータークラブは初心者にお勧めの場所だ。

「コンピューターに年齢制限はありません。まだ読み書きができるなら、コンピューターだってきっと役に立ちます。」

オーランドに住み、自分の投資状況を毎日オンラインでチェックする65歳のゴードン・フィンレーは言う。彼は世界を網羅するネットワーク、インターネットも使い、25組以上の家族や友人と交流している。

「とても効果的で経済的です。ぎっしり打ち込んで世界中どこに送っても、1ページ5セントほどです。」

ウィンター・パーク技術校のコンピューター部の責任者をつとめるギリ・ディクソンは、シニアネットの講座はシニアがコンピューターを始める最高の機会、と言う。

「シニアたちにとって、何度も繰り返し学ぶ、というのがとても大切なんです。この講座は彼等向けにつくられているんです。」

学校の先生が教える一般講座にも必ずシニアボランティアの補佐がつく。

シニア生徒の一人でアルタモンテ・スプリングスのハーブ・ブラウン（65）は言う。

「私は身体に障害のある退役軍人です。今まで、テレビを見るか、寝るか、死ぬかの選択肢しかありませんでした。」

彼に4番目の選択肢が登場した。それがシニアネットの講座を受けることだった。

「学ぶことが多すぎて大変です。でも子供たちがができることなら、私にもできると思いましてね。」

SeniorNet Introduction

日本語訳 (FOR JAPANESE)

非売品 (not for sale)

翻訳 富本潤子 近藤 則子

translation Junko Tomimoto, Noriko Kondo

編集 近藤 則子

内容に関するお問い合わせは cxp03454@niftyserve.or.jp 近藤まで

この小冊子は、第2回高齢者／障害者の立場でマルチメディアを考えるフォーラムの資料のために作成されたものです。無断で転載、掲載を禁じます。

この小冊子は財団法人電気通信普及財団、財団法人国際コミュニケーション基金の助成を受けて作成しました。

Special Thanks to :

**The Telecommunications Advancement Foundation and
International Communications Foundation for the creation of
this publication.**